

低学年保護者（授業について）

◆まだまだ、初々しくて皆のいきいきした、かわいらしい姿が見られました。前日からうれしそうで、はりきっていたので期待通りの様子でした。手もきちんとして上がっていて嬉しかったです。前回の参観日や前に参加した時、校長先生が話していたように、保護者の私語が気になりました。少し残念に思いました。ついついお母さん同士、世間話をしてしまいがちなので、私もこれから気をつけていこうと思いました。（校長：私語について理解していただきありがとうございます。）

◆皆、よく手をあげて発表していました。素人なのでよく分かりませんが、道徳は教えるのに難しい科目だと思います。先生が一生懸命されるのがよく伝わりました。日常の子育てで、子どもに対して反省ばかりです。毎日が道徳の勉強なんだと改めて思います。

中学年保護者（授業について）

◆人の気持ちを考えて大切にするという事は生きて行く上で一番大切なことだと思います。自分の意見ばかりでなく相手の想いも聞いて、それでゆずれない気持ち、想いはきちんと伝えて行く！！それを家でも言っています。今から大きくなるにつれてお友達やまわりの人達とトラブルもあると思いますが、こうして小学校から取り組んでいる道徳が生かされていけばすごくいいなあと思っています。

◆皆が、生き生きとした表情で発表していました。自分がどう感じたのか、どうした方が良かったのか、その理由はなぜか。自分の言葉で表現する、相手に伝える・・・というのはなかなか難しいことだと思います。でも、それはとても大切な事で、自分の考えをしっかりと持ち、そこに他者からの意見や状況、あらゆることを取り入れながら、答えを導き出すことができるのではないかと思います。何が出来るか・・・の前に、「気付く」事が出来るかだと思います。キラリ発見、でもあるように普段から「気づき」への取り組みが、学校の取り組みとして成されている事も素晴らしいことだと思います。

高学年保護者（授業について）

◆6年生に相応しい題材だよと思って、子ども達の意見に興味深く耳を傾けました。「リーダーとして」「人のために」「未来のために」6年生として、どう考えどう行動して行けばよいのか、大いにヒントになったと思います。多くの子ども達は、保育園児のころから見てきていますが、6年生になった今、個々の成長と人としての責任感を持つ自覚ができていなあと、強く感じる授業でした。これからのたくましい成長も期待できます。

◆ヘレンケラーの授業で、サリバン先生のヘレンに対する気持ちのところを、みんなが、たくさん発表していたので、みんな人の気持ちが分かっているんだなあと感じました。授業の内容も意見の仕方6年生さすがでした！！

校長より：平日の参観日にたくさんの皆様に授業参観・懇談会に参加していただきありがとうございました。また、後の道徳アンケートにもたくさんの感想やご意見もいただきありがとうございました。真面目に取り組む学習の様子や道徳の授業の必要性を理解していただいている内容等が多く嬉しく思いました。（中には、親としても勉強になるという内容もあり、これからは親子で考え実践する道徳に繋がっていくのではないかと考えます。）

お家での「あいさつ」「玄関の靴の整頓」のアンケートについては、提出分のみですが「あいさつ：そう思う、どちらかといえばそう思うは79%。「玄関のくつ：そう思う、どちらかといえばそう思うは49%でした。「くつ」については、学校と家庭では差を感じます。学校でも注意しますが、家庭でも気をつけて取り組んで行きましょう。

「家庭で取り組む 高知の道徳」を使った懇談会の感想等については、次回！